特定非営利活動法人アンダーウオータースキルアップアカデミー

令和２年度 事業報告書

1　事業の成果

・ 水難事故発生時の救助活動に出動することが前年よりも増え、令和2年度は16回となった。伊東市においては令和元年12月～令和2年11月の間に駿東伊豆消防本部からの水難事故発生の連絡が10件あったが、それら全てに対して出動することができた。前年は事故発生の連絡が8件でそのうち7件が出動していたので、水難事故の発生件数は増えたが、当法人の出動率は高まったと言える。駿東伊豆消防本部からの連絡以外の6回の出動はダイビング中の事故で現場付近にいた会員が自主的に出動したものであるが、防止することが可能な案件もあったので事故防止のためのダイビング指導者向けの講習会を関係機関と協力しながら継続的に行っていく必要がある。さらに今後は一般ダイバー向けの講習会等の開催も検討する。

・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、4月以降に予定していた官民合同水難救助訓練、当法人主催の潜水捜索訓練、海の安全・安心講習会をはじめとして、予定していた活動を自粛せざるえなかった。

2　事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事　業　名	事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
① ダイバーのダイビング技術向上に関する事業	西神奈川広域救難所との合同潜水捜索訓練（講師：海上保安庁）	(A)R2年2月5日 (B)神奈川県江の浦 (C)2人	(D)水難救助員 (E)23人
② 水中考古学に関する事業	（本事業年度は実施しなかった）		
③ 水辺の保全に関する事業	環境の保全を図るための地域の水中清掃を実施	(A)H31年12月16日 (B)神奈川県芦ノ湖 (C)3人	(D)水辺を利用する市民 (E)不特定多数
④ 水難救助等に関する事業	水難救助活動	(A)H31年12月～R2年11月に出動16回（内救助活動10回） (B)伊豆半島 (C)のべ53人	(D)海中落水者・潜水事故者 (E)救助者7人
	関係機関との合同水難救助訓練	(A)R2年1月29日・2月19日 (B)沼津市静浦港・東伊豆町北川 (C)のべ18人	(D)水辺を利用する市民 (E)不特定多数

事　業　名	事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
（続き） ④　水難救助等に関する事業	関係機関に対する潜水訓練支援	(A) R2年10月12日～16日 (B) 伊豆市土肥 (C)2人	(D)消防の水難救助隊員5人及び水辺を利用する市民 (E)参加者5人及び市民不特定多数
⑤　地域の安全を援助する事業	ダイビング事故防止対策意見交換会開催	(A)R2年2月13日・2月17日 (B)伊東市富戸コミュニティセンター・沼津市プラサヴェルデ (C)6人	(D)参加潜水指導者・関係機関及びレジャーダイバー (E)参加者66人及びレジャーダイバー不特定多数
	潜水医学講座小田原セミナーで講演	(A)R2年2月1日 (B)東京海洋大学品川キャンパス (C)2人	(D)潜水指導者・医療関係者・消防・海保 等 (E)95人
	地域の水難事故対策連絡会への参加	(A)R2年11月18日 (B)伊東消防署 (C)2人	(D)水辺を利用する市民 (E)不特定多数
⑥　地域の観光を援助する事業	（本事業年度は実施しなかった）		
⑦　海浜資源の保全と有効活用等により漁村の振興を援助する事業	（本事業年度は実施しなかった）		
⑧　職業能力の開発及び労働災害等雇用環境の整備支援に関する事業	（新型コロナウイルス感染症の影響で中止した）		